

第8回 大和郡山市放課後児童クラブ代表者会議 協議・決定事項

○開催日時

令和6年1月19日（金）10：00～

○開催場所

大和郡山市城址会館

○出席者

代表者会議委員 8名

事務局 2名

○協議・決定事項

2. 研修会の開催について

・今後予定している研修会についての報告を行った。令和6年2月7日（水）開催予定の保護者対応についての研修会については、1月15日付で各学童保育所に案内を送付済み。講師はカウンセリングや研修等の事業を実施しているフェリアン（株式会社女性ライフサイクル研究所関西）の副所長 津村 薫 氏に依頼。実績のある講師であり、支援員のスキルアップに必要な内容と考えるので積極的な参加を依頼するもの。

3. 支援員等の年間労働調査について

・前回の代表者会議で協議し、実施した支援員等の年間労働時間調査の結果について報告を行った。現在、学童保育所で勤務する職員はいわゆる「年収の壁」のうち、いくらを意識しているかについての調査を実施したところ、3分の2超の方は103万円までの範囲で働くことを意識されているという結果であった。また、130万円を意識して働いている方が次に多く、仮にサポートセンターが運営主体となり、なおかつ法人化された場合は106万円を超える40名程度の方に社会保険への加入が必要となるため、本人、事業所共に社会保険料の負担が発生するなど影響があることを報告した。また、国民健康保険に加入されている職員に対する学童保育所からの補助等の内容についても情報交換を行った。

4. 給与計算事務支援業務について

・給与計算事務支援事業の提案について報告し、協議を行った。保護者等の負担となっている事務として、支援員等の給与計算事務があるが、その部分についてもサ

ポートセンターとして支援を実施していきたいと考えており、提案書のたたき台を作成し提示した。現状、各学童保育所で給与計算事務のやり方は様々なため、統一した業務方法を提案するのではなく、現在実施されている事務の中で支援が必要な部分があれば協議し、必要な部分について支援を実施する方向で検討している。たたき台の内容を各学童保育所で協議していただき、その結果を確認の上、提案することとした。

5. 放課後児童クラブの運営移行に関する調査について

・前回の代表者会議に引き続き、放課後児童クラブのサポートセンターへの運営移行に関する調査について協議を行った。調査票の提出期限や回答の選択肢等について再度協議を行い、決定した内容について1月中に各学童保育所に配布することとした。

6. その他

・委員より、各学童保育所の現状の課題について報告していただき、内容について意見交換を行った。支援員の確保や勤務の調整に苦慮しているという意見があり、現在、市ホームページや市LINEに掲載して募集を行っているところ、さらに、市広報紙「つながり」を活用した支援員の確保についても検討することとした。また、常勤職員の配置や後継者の育成についての各学童保育所の現状や課題についても情報交換を行った。

・運営移行について、保護者が不安に感じているという意見に係り、運営移行後のサポートセンター事務は、主に3本柱（利用料の徴収、支援員等の給与等支払い、支援員等の雇用）及び付随する事務であり、国の「放課後児童クラブ運営指針」に反すると認められる場合を除き、保育内容については、これまでどおり各学童保育所の独自性を重視することを確認した。

・事務局より、次年度も引き続き代表者会議を実施するため、委員の選出を依頼する予定である旨報告した。現在委員を選出されていない学童保育所も含め、改めて11学童保育所すべてに依頼する予定であり、引き続きのご協力をお願いした。

・次回の代表者会議について

令和6年2月20日（火）10：00～ 大和郡山市城址会館にて開催予定